



平成31年2月発行 通巻161号

JAゆうべつ町広報誌



KAGAYAKU TSUBASA

輝く翼

湧別町の空に飛ぶ白鳥を見た時、私は素敵だなと感動しました。「JA ゆうべつ町」が飛躍する事を願い、群れをつくり大空に羽ばたく真っ白な白鳥の様に、気持ちを新たに一致団結して前へ大きく前進する願いを込めてデザインのイメージをしました。そして皆さんが愛読するにあたって、優しく温かい気持ちになれます様にと虹の橋を架けました。先頭を飛ぶ真ん中の白鳥にはリーダーと言う意味があり、冠を付けてみました。



最先端の経営技術を学ぶ

2019. 2 vol.161



今後の“規模拡大”に向けて——

～JAゆうべつ町女性部経営技術部会&若き後継者達～

～丘上薫さんの牛舎を視察～

JAゆうべつ町女性部経営技術部会は、近年完成した牛舎の最新設備を勉強する為、1月17日に川西地区の丘上薫さんのロボット牛舎を視察しました。

丘上薫さんと後継者である岳上和貴さんの案内で実際に搾乳ロボットを見させて頂き、動き続ける機械を部員達は注視。中には初めて搾乳ロボットを見た部員もいたようで「働きのだねえ」と一言、感想を述べていました。ロボットを導入したことによって搾乳の負担が減ると思いきや、ロボットにエラーが発生すれば携帯に通知がきて対処をしたり、また、遠出をしている時に通知がきた場合は家族やヘルパーにお願いをして対処、牛がロボットに入らない場合は誘導したりするなど、導入した後にも課題は絶えなかったそうです。

搾乳ロボットを見た後はフリーストール牛舎の見学、そこには餌寄せロボットが設置してあり和貴さんに動かして頂きました。あらかじめ登録された軌道を描き動き出す餌寄せロボットに関心する部員達でした。



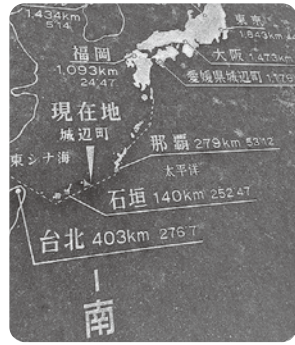
～越智淳一さんの牛舎を視察～



湧別地区の若き後継者達は1月21日に芭露地区の越智淳一さんの牛舎を視察しました。今回の牛舎視察は網走農業改良普及センターが将来を担う後継者達に対し、勉強会ということで企画したものです。普及センターの高畠職員が越智牧場の概要を説明、その後、越智大輔さんを交えて牛舎周りの説明を受けました。後継者たちは越智大輔さんや普及センターの職員達に普段から自分たちが行っている作業と何が違うのか積極的に質問・意見を出し合い、現状の問題点と課題を共有しました。また、越智さんは「牛床のサイズや段差など、実際に作業を始めてから見えてくる課題もある」と、規模拡大を予定している後継者は参考になったことと思います。

今回の丘上薫さんと越智淳一さんの最新設備が整った牛舎を視察し、各々は今後に向けての未来像を描けたことでしょう。今回の牛舎視察に協力頂いた方々に厚く御礼申し上げます。

沖縄・離島をめぐる5日間の旅
支所下ラベルプラン



旅で、11月8日から12日の日程で19人が参加しました。

空路で沖縄県石垣島へ移動後、翌日は石垣港から西表島、由布島、竹富島を観光。水牛車でのんびりとした時間を過ごしました。石垣島を観光後、再び空路で宮古島へ移動。宮古島3大大橋を渡り、伊良部島、池間島、来間島を観光致しました。

旅行中は天候に恵まれ、楽しい5日間の良い旅行となりました。



今年で29回

目を数えるトラベルプランは沖縄本土よりさらに南の八重山諸島を巡る5日間の

営農計画協議が終了する

12月10日から12月21日まで、湧別町農協本所及び支所にて平成31年度営農計画書を作成致しました。

営農計画協議では、組合員の皆様が作成した営農計画書を基に職員が経営を分析し、本年の収支に反映・改善を目的として行われています。一年間の営農に向け、各担当職員と真剣な面持ちで協議が行われました。

皆様方の計画を上回る年を迎えることができますよう、ご祈念致します。



▲営農計画協議の様子

続・今こそJA

第11回 JA北海道大会決議は 決意の表れ

農協法改正法案の可決成立から約2か月後の平成27年11月11日、第28回JA北海道大会が札幌市内で行われました。全道から約二千五百名のJA組合員、役員が参加し、大会決議が採択されました。

大会議案は大きく3つの柱から成り立っており、その基本目標と具体的な実践方策によって構成されています。特に従来の大会決議と大きく異なるのは、基本目標の中で「20%増大」「倍増」「550万人」といった数値目標を掲げたことです。数値目標の場合、実績と対比することで目標を達成しているかどうかを容易に判別できますが、目標を達成していないことも一目瞭然になります。あえて数値目標を導入したということはJAグループ北海道としての目標達成に向けた決意の表れとも言えます。

また、実践方策には「収益向上」「トータルコスト削減」など、改

革プランに盛り込まれている項目と連動した作りになっています。今年11月に開催される第29回JA北海道大会では大会決議事項の総括が行われる予定です。JAグループ北海道が自己改革を本当に進めているのか、大会決議を守ることができているのか、その動向を国や報道機関など誰もが注目しているのです。

第28回 JA 北海道大会議案

【議案第1号】

北海道 550 万人と共に創る「力強い農業」の実現
 <基本目標>協同の力で農業所得 20%増大と新規担い手倍増を実現

【議案第2号】

北海道 550 万人と共に創る「豊かな魅力ある農村」の実現
 <基本目標>食と農を通じて北海道 550 万人とつながりを実現

【議案第3号】

基本目標を実現するための「各組織の取り組み」



園芸

抵抗性害虫の発生対策について

一 抵抗性害虫の増加リスク

同じ種類の害虫でも遺伝的な違いで農薬の効果が高い個体があり、抵抗性害虫と呼びます。一つの農薬を連用すると、抵抗性害虫が死滅せずに増加し続けるリスクが高まります。

二 農薬の系統名について

農薬は名前が違ってても、化学構造や害虫への攻撃方法が似ている農薬があります。それらを同じ系統名の農薬といい、連用で抵抗性害虫増加のリスクが高まります。そのため、殺虫剤を選択する際には、必ず系統名も確認して使用しましょう。

農薬の系統名は遠軽地区施肥防除推進協議会が発行している防除ガイドに表示しているので参考にしてください。

農薬の効果高め、抵抗性害虫発生のリスクを低減する防除方法

異なる系統の農薬でローテーション防除！
抵抗性害虫の発生を防ぐ、第一の基本技術です

若齢幼虫のうちに早め防除を！
小さいうちの方がよく効くので発生予防で適期を逃さずに

生育量に合わせた液量、適切な散布圧で！
葉の裏や隙間に潜む害虫にしっかり農薬がかかるように

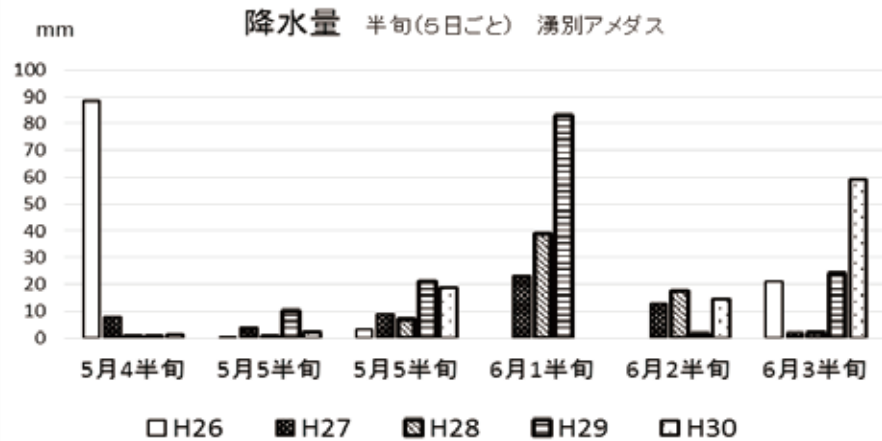
道内で抵抗性が確認されている害虫と農薬系統

コナガ:ピレスロイド系、ベンゾイル尿素系(IGR)
ネギアザミウマ:ピレスロイド系

かぼちゃ生育経過と課題について

一 生育経過

5月下旬から定植が始まり、6月上・中旬の多雨と中旬の低温で定植から生育は遅れぎみでした。開花は7月下旬頃から多く、高温少雨や8月に入り低温多雨で落花が増え着果数は減少しました。定植期頃からの多雨(5月25日〜7月15日降水量、遠軽360ミリ平年



対比三.一倍、湧別二.三倍、佐呂間三.〇倍で地域差あり)で場所により緩効性肥料でも肥料流亡があり、つる伸張が悪く小果の要因になりました。うどんこ病の拡大は8月下旬からやや少なく、低温多雨で斑点細菌病が発生したほ場がありました。

二 課題と対策

最近5月下旬からの降水量は多く、マルチの設置は多湿過乾状態を避け、地温を確保するために定植前一週間は確保してください。生分解性マルチは多雨や高温もあり分解が進み雑草の発生が多く、部会などで検討を進めましょう。肥料流亡がある場合は着果後追肥を検討しましょう。

畜産

一 分娩後日数に伴う乳牛の変化
〜栄養不足の期間を最小に〜

乳牛が高い乳量を生産する一方で健康状態の維持が課題となっています。次の図に分娩後日数に伴う乳量、採食量、体重の変化を示しました。泌乳のピークが早期に現れるのに対し、採食量のピークは遅れ、これによって栄養不足の期間が一定程度生じることが分かっています。高い生産と乳牛の健康状態を維持するためには、この栄養不足の期間をできるだけ短くすることが重要です。



二 乾乳期の管理が重要

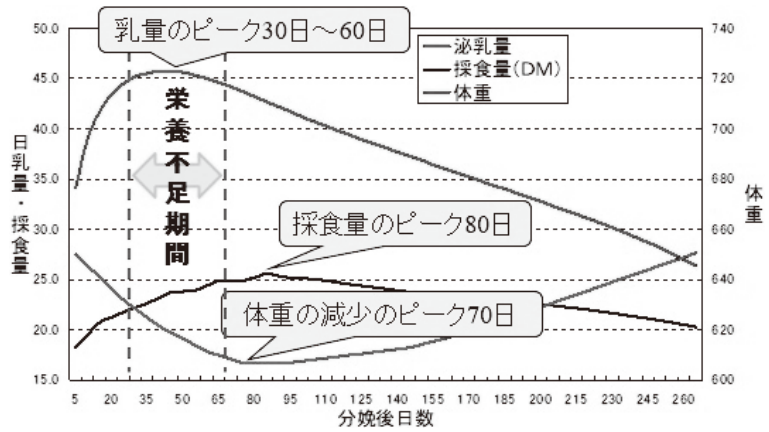
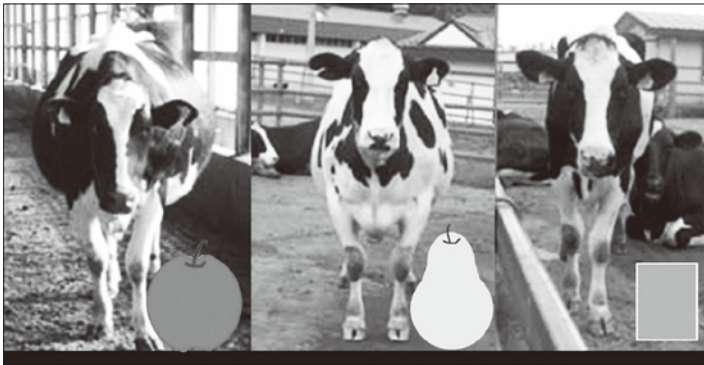


図1 分娩後日数と採食量、体重の変化 (例)

分娩後の早期の採食量の回復が栄養不足期間の短縮に繋がります。乾乳期の適切な飼養管理は効果的な取り組みです。次に乾乳期の飼養管理のポイントを示しますので参考としてください。

○採食量を減らさない
乾乳期は、自家にある良質な粗飼料を給与し、飼槽を空にしない

リンゴ型 洋ナシ型 ボックス型



しっかり食い込めている状態 食欲低下の状態

図2 乾乳後期の腹囲の状態

ことが重要です。また、乾乳牛を観察し、十分に採食できているか確認する必要があります。左の図のようなリンゴ型の腹づくりを指しましょう。

○ストレスを減らす
自由に飲める・食べられる・寝られるなど、牛にとって気持ちよく過ごせる環境を用意しましょう。『乾乳期のひと手間が順調な泌乳期につながります。普段の管理を少し振り返ってみましょう』

4メーカー「新車全車種対象」特別企画
平成最後の 春の新車フェア
2019年1月1日~3月31日 ご契約分まで
銘柄はトヨタ・スズキ・スバル・三菱が対象!

乗用車を新車でご成約でもれなくプレゼント!

A present
ホクレンSSポイント
ホクレンSSポイントカード
30,000pt進呈!

B present
ホクレン 選べるカタログギフト
●ホクレン・セレクト ライラックコース1冊
●ホクレン・セレクト ラベンダーコース4冊

C present
農協観光 旅行券
30,000円分

軽トラック・軽バンを新車でご成約の方は さらに 乗用車を新車でご成約または軽トラックを新車でご成約の方に

スタッドレスタイヤ4本プレゼント!
ホイール付き

ホクレン エンジンオイルプレゼント!

●問合先●
湧別町農協車両整備工場
TEL(01586)5-2219

農協 お知らせ版

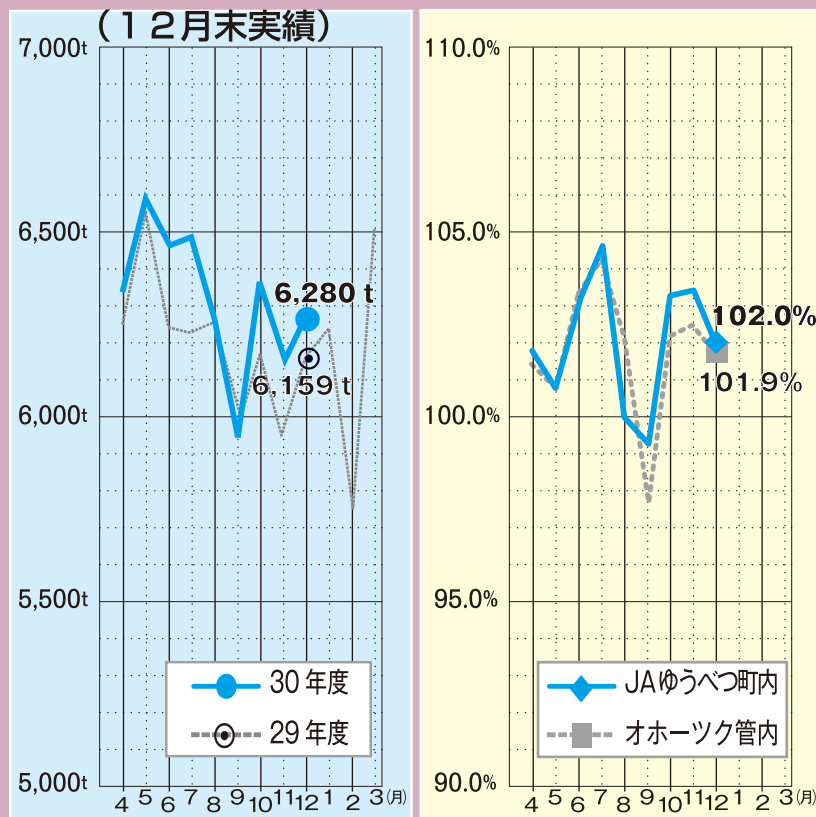
平成30年度 第11回理事会
12月21日開催

報告事項

- ① 酪農・肉牛等をめぐる情勢に関する意見交換会（キャラバン）
- ② 宮農懇談会について
- ③ 自民党移動政調会について
- ④ Aコープ全道経営者懇談会について
- ⑤ 監事監査について
- ⑥ 第1次・第2次・第3次中央要請について
- ⑦ 芭露支所地区年金友の会総会慰安旅行について
- ⑧ 自民党畜産・酪農対策委員会視察及び意見交換会について
- ⑨ 畜産公社取締役会について
- ⑩ オホーツク農協畑作青果対策委員会・オホーツク農協組合長会議について
- ⑪ 免税軽油・乾燥用灯油の割り戻

平成30年度 生乳出荷状況について

JAゆうべつ町生乳出荷乳量推移 生乳出荷乳量との前年比較



- ⑫ 甜菜代金の追加立替払と経営所得安定対策数量払仮渡金の支出について
- ⑬ 甜菜共済金の立替払について
- ⑭ 自由金利型定期貯金の受入れと貯金残高の推移について
- ⑮ 組合員の営農実績について
- ⑯ 平成30年11月末生乳生産実績について
- ⑰ 決算手続き等について

協議事項

- ① 組合員の異動について
- ② 組合員への貸付について
- ③ 平成31年度監査実施計画について
- ④ 贈与税納税猶予に係る債務保証解除について
- ⑤ 組合員の経営について
- ⑥ 規程類の変更について

○平成31年オホーツク農業新技術セミナーの開催について○

北見農業試験場などが研究開発した新品種や新技術を速やかに公表し、オホーツク地域の多くの方々に活用して頂くため、次の通り「平成31年オホーツク農業新技術セミナー」を開催します。新品種や新技術の他、地域におけるトピックスも紹介します。どなたでも参加できますので、お気軽にお越し下さい。

- ◎日時 平成31年2月26日(火) 13:00～16:00
 - ◎場所 北見市端野町公民館グリーンホール (北見市端野町二区471番地11)
TEL0157-56-2515
 - ◎入場料 無料
- 【お問合せ先】
北海道立総合研究機構 北見農業試験場 (総務課 山本) TEL0157-47-2146